

# 平成 17 年度(第 1 回)成果発表会アンケート集計結果

平成 17 年 5 月 31 日  
JOGMEC 金属企画グループ

実施日:平成 17 年 4 月 27 日(水)

発表内容:【第 1 部:調査研究報告】

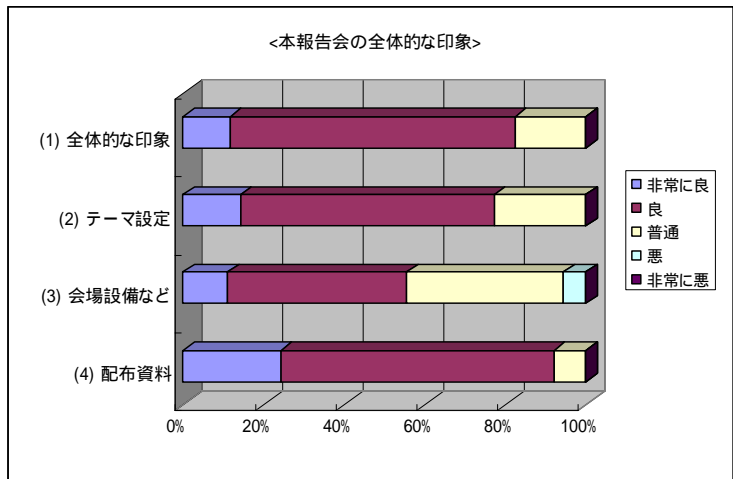
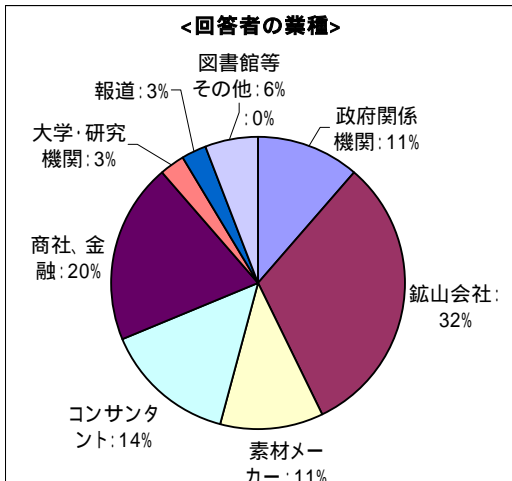
2004 年世界の探鉱動向 : 西川信康

チリの銅酸化鉱と硫化鉱の埋蔵量 : 原田 武

【第 2 部:帰国報告会】

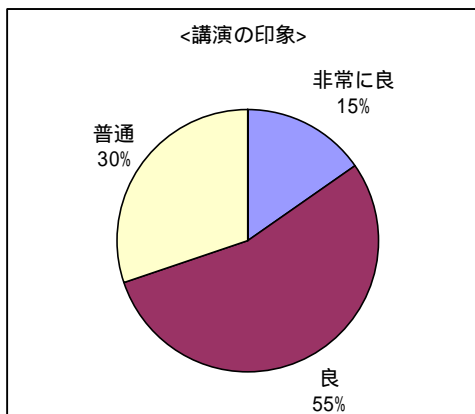
・ 豪州鉱業事情 : 神谷夏実

外部の参加者数:42名  
アンケート回答数:37件



## 本報告会の良かった点・悪かった点

### (1) 2004 年世界の探鉱動向



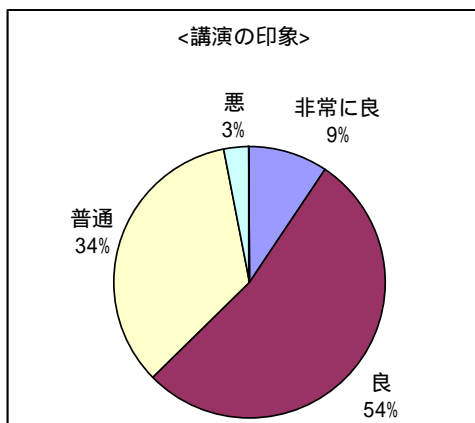
#### 1. 良かった点

- ・資料がよく整理されており、説明がわかりやすい 57%
- ・探鉱の傾向がよく理解できた 43%

#### 2. 悪かった点

- ・データソースが偏っている
- ・テーマを絞って欲しい
- ・発表者の考察を入れて欲しい

### (2) チリの銅酸化鉱と硫化鉱の埋蔵量



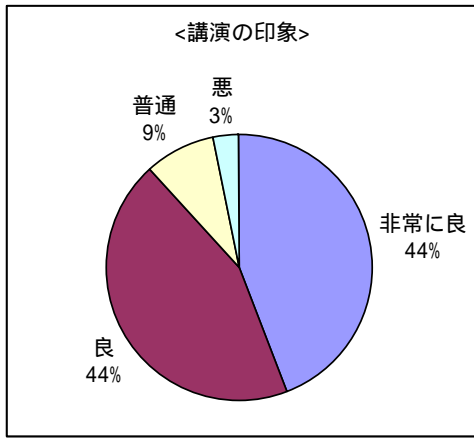
#### 1. 良かった点

- ・資料がよく整理されており、説明がわかりやすい 62%
- ・チリの銅資源における影響の大きさを再認識 15%
- ・SX-EW 資源の限界が判った 15%
- ・チリの銅鉱石の流れがよく判った 8%

#### 2. 悪かった点

- ・グラフ、数量中心であり単調に感じた
- ・ポイントが不明確
- ・予測のグラフで SX-EW の伸びがどう対応するのか工夫して欲しかった

(3) 帰国報告会「豪州鉱業事業」

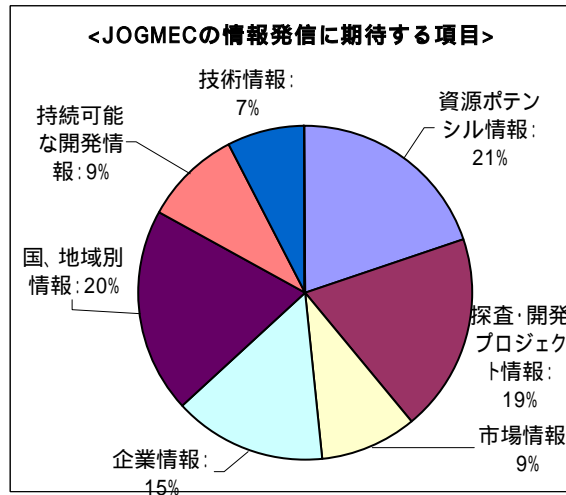
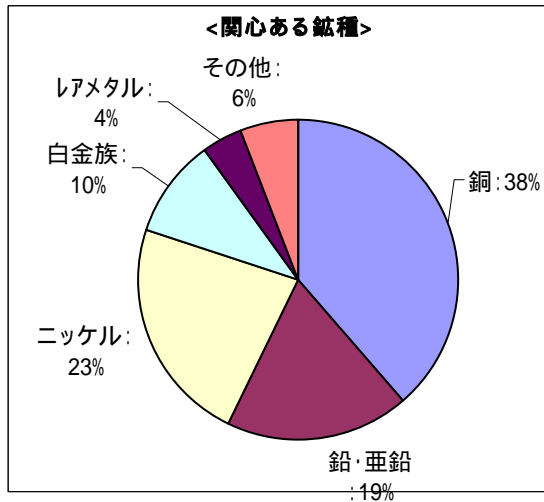


- 良かった点
  - 先住権と探鉱権の関係がよく判った 39%
  - 豪州の鉱業事情がよくまとまっており判りやすかった 39%
  - 非常に具体的で、講演者独自の視点が伺え良かった 13%
  - ジュニア企業の分析が興味深かった 9%
- 悪かった点
  - 説明時間が短かった
  - 業界再編成の話題は目新しくなかった
  - 説明が早口で聞き取りにくかった

今後の発表対象として取り上げて欲しいテーマ

- ・鉱業国における鉱業権益の参入条件の事例(オプション参入等も含む)、取引価格条件
- ・中国、ロシアの鉱業事情
- ・各国鉱業法、税制の変化及び比較
- ・イランの銅事情
- ・鉄鉱石、石炭、アルミ、錫等についての歴史、需給の変遷、業界の変化など  
銅、鉛業界にも将来同様のことがあり得るのかに興味

参加者の関心事項



以上